

救急・ICU 臨床研修プログラム

1. 到達目標

救急外来に搬入される患者の診療を担当し、BLS, ACLS を含む初期治療を習熟する。
また ICU における重症患者の診療を通して、病態の理解、検査、診断、治療方針の立て方を習得し、そのために必要な知識と手技について学ぶ。

2. 当院の特色

当院は神戸市北区の中心に位置する神戸市二次救急指定病院であり、すぐ近隣に同規模の救急病院がないことから救急車の搬入件数は多いと言える。H18 年度の救急車搬入件数は神戸市二次救急指定病院で第 2 位であった。特に脳卒中、救急循環器疾患（急性心筋梗塞、不安定狭心症、急性大動脈解離など）はオンコール制をひき 24 時間体制で受け入れているため、重症の救急搬入患者の率が高い。

3. 研修内容

救急外来

- 1) 基本的に小児を除く救急外来搬入患者の初療を指導医と共に担当する。
- 2) 患者の状態に応じた診察、検査、処置、診断、説明、初期治療などが迅速に行えるよう研修する。
- 3) 必要な専門科を的確に判断し、専門医師への引継ぎを迅速に行う。

ICU

- 1) 主治医や指導医とともに、救急外来から入院した重症患者や、一般病棟から重症化して ICU 入室となった患者の診療にあたる。
- 2) ICU 領域で行われる人工呼吸器管理、持続緩徐式血液濾過透析などの全身管理を習得する。
- 3) ICU 入室となる患者の主な疾患
虚血性心疾患（急性心筋梗塞、不安定狭心症、経皮的冠動脈形成術後）
うっ血性心不全
重症不整脈（DC、一時ペーシング）
急性腎不全、慢性腎不全急性増悪
急性呼吸不全、重症肺炎、慢性呼吸不全急性増悪
術後全身状態不安定患者
アナフィラキシーショック、急性薬物中毒、多臓器不全
重症急性膵炎
多発外傷
（脳出血、くも膜下出血、脳梗塞などは主に救急神経部門で研修していただく）
など
- 4) 救急外来・ICU で行われる手技、治療法
BLS、ACLS、救急薬品の使い方
中心静脈カテーテル、Aライン、尿道バルーン、経鼻胃管などの挿入、留置
気管内挿管、人工呼吸器管理、NIPPV、気管切開術
シールドンカテーテル挿入、CHDF 持続緩徐式血液濾過法
胸腔ドレナージ、腹腔ドレナージ、腰椎穿刺
脳低体温療法
など

4. 教育体制

1) カンファレンス

毎朝 8:45 から行われるモーニングカンファレンスに参加し、各科の医師、ICU スタッフと入室患者の病状、診断、治療方針を検討すると同時にチーム医療の重要性を学ぶ。

2) 指導スタッフ

ICU 室長 瀬戸信治 日本内科学会認定医

その他 ICU ではそれぞれの主治医・担当医が指導にあたる。